

(独立行政法人教職員支援機構委嘱事業) 教員の資質向上

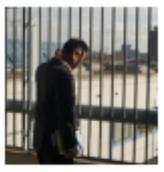
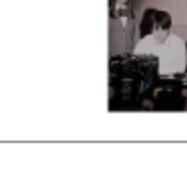
のための研修プログラム開発支援事業報告書

プログラム名	教育研修 DVD 「学校教職員の不祥事をどう考え、いかに、防止するか」の開発
プログラムの特徴	<p>このDVDは教育センター等での大集団での研修にも、校内研修など小集団の研修にも使えるものである。</p> <p>「中学女子生徒の盗撮被害」という架空ではあるが、深刻で、なおかつ現実に全国で発生している不祥事を4つの場面においてドラマ化し、DVDにした。</p> <p>このDVDを視聴と視聴後の小グループ討議により、学校教職員は、「被害の影響がいかに広範囲（被害児童生徒、児童生徒の友人、家族、加害者の同僚、卒業生、地域住民等）に及ぶか、またその影響がどれほど深刻なものとなるか」「不祥事のことを『つい他人事として考える』自分の事をどう思うか」について小グループディスカッションし、内省することが可能となる。</p>

平成31年3月

機関名 岡山大学大学院教育学研究科  
連携先 福山大学人間文化学部  
岡山県教育委員会

## プログラムの全体概要

場面1 被害者と友人の 登校場面	 	物語の概要	視聴の狙い
場面2 被害者の自宅の様子	 	<p>早朝の街角。待ち合わせ場所で同級生を待ちながら、被害生徒はスマホの画面を見ている。画面には「学校教師また不祥事」の文字が躍っている。同級生がきて二人で歩きはじめるが、盗撮に関する話題では、二人の会話はかみ合わない。とうとう被害者は「あんたに何が分かる」という言葉を友人に言い捨てて立ち去ってしまう。</p>	<p>被害に遭った生徒の心理的打撃の深刻さや、生徒間の友人関係にまで影響が出ることを理解する。</p>
場面3 現場となった学校での教師同士の対話	 	<p>被害生徒の家。生徒は自室に閉じこもり、膝を抱えてうずくまっている。心配した母親がドアの前から呼びかけるが反応はない。階下では父親がイライラしながら新聞を読んでいる。テレビで事件のニュースが流れ、父親は舌打ちして消す。生徒の部屋の前からなすすべなく戻ってきた母親と会話を始めるが、自然と言い合いになる。学校から、様子を聞く電話がかかってくるが、父親が電話を奪い取り、学校に怒りをぶつける。</p>	<p>被害生徒の家族が受ける深刻なダメージについて理解する。家族の学校に対する怒りの受け止め方や、家族への声掛けの方法について考える。</p>
場面4 近くの学校での校長訓示とそれを聴講する教諭	   	<p>事件のあった学校。女性教師が教頭に出勤のつらさを訴える。その訴えは「保護者にあわせる顔がない。視線が怖い。卒業生も影響を受けている」と広がっていく。その後、二人の会話は不祥事防止研修の話題に移り、「あの(事件を起こした)先生も不祥事防止研修に出たのでしょうか。そんな意味のない研修なんか出たくないです」と教頭に詰め寄る。教頭は自分の研修の進め方が甘かったのかと自問自答する。</p>	<p>事件が起きた学校での影響の大きさ(教師全員はもちろん、卒業生や地域生活にまで影響は広がる)を理解する。時間が限られているなかで、研修の質の重要性を考える。</p>
場面4 近くの学校での校長訓示とそれを聴講する教諭	  	<p>現場となった学校の近くの中学校。校長が教員を前に、緊急の校長会があったことや、教育長からの訓示内容を話している。教師たちは真面目に聴いているが、1人の教諭があくびをかみ殺す。その教諭の背後に天使と悪魔が現れ、驚く教諭を尻目に「そんな態度でいいのか」「不祥事をどう思うんだ」と問いただす。教諭は「不祥事なんてダメなのは当たり前だし、自分は絶対しない」と断言するが、悪魔は「僕たち不祥事が起きた学校に行ってきたけど、起したのはあなたみたいな真面目な若い先生だったよ」と言い放つ。うなされていた教諭は、同僚に揺り起こされ悪夢から目覚める。</p>	<p>上司からの訓示だけではなかなか効果が上がらないことを理解する。「自分は不祥事を起きない」「だから自分には関係ない」という他人事意識をもっている教諭の態度から、何が学べるかを考える。</p>

## 1 開発の目的・方法・組織

### ① 開発の目的

全国的に学校教職員の不祥事が多発しており、各地の教育委員会が対策を講じているが、「猥褻事案」「体罰」など、児童生徒が被害に遭う事案は減っていない。不祥事については「自分はそのようなことを起こすはずがない」という他人事意識が根強く、研修の場を設けても研修意欲が低いという問題がある。

DVDで架空の不祥事事案の事例を提示することで、「不祥事が起きると多くの方面に影響が及ぶこと」「不祥事は誰でも起こす可能性があること」を学び、研修の動機づけを高める。

### ② 開発の方法

これまで岡山県教育委員会が3年がかりで作成してきた「新たな研修プログラム」を土台にして、現場教員に訴求性のある動画づくりについて議論し、何をどのように見せるとよいかを考えて、盗撮事件を素材としたドラマのシナリオを作った。出来上がったシナリオを映像制作会社に検討を依頼して修正し、予算内でのドラマの作成に着手し、また出来上がったDVDの使用方法等についても議論し、リーフレットを作成した。

### ③ 開発組織

岡山県教育委員会、岡山大学大学院教育学研究科、福山大学の3者が連携し、また岡山大学と岡山県教育委員会の連携協力事業のなかに位置づけ「DVD作成専門部会」を立ち上げて、開発を行った。

## 2 開発の実際とその成果

今後、この事業で開発したDVDは、平成31年度の4月～5月にかけて、岡山県内の学校等で実際に視聴されることになっている。

○対象 岡山県内の公立小・中・高等・中等教育・特別支援学校に勤務する教職員

○人数 15,000名(見込み)

○期間 平成31年4月～5月、各学校の都合に合わせて校内研修の日時は決定される。

○講師 校内でコンプライアンスを担当する「コンプライアンス推進員」が司会をしてDVDの視聴及び小グループ討議を行う。

○各研修項目の配置の考え方(何をどの程度配置すべきと考えたか)

岡山県教育委員会では、コンプライアンスにかかる校内研修の年間スケジュールの概要を策定し、大まかな流れを各学校に通知しているが、本DVDの視聴を伴う校内研修は、年度当初に行うように指導する予定である。

○各研修項目の内容、実施形態(講義・演習・協議等)、時間数、使用教材、進め方

研修項目	時間数	目的	内容、形態、使用教材、進め方等
コンプライアンス研修	30分～60分	不祥事防止研修の動機づけを高める	1. 教職員全員を集めた校内研修の場で、DVDを視聴 2. 小グループに分かれて感想を共有する。 ※当該研修後、各学校では、年間を通じて計画的・継続的な不祥事防止研修を実施する。

○実施上の留意事項

深刻な内容もあるので、グループ協議後にはリラクゼーションを行うこと

○研修の評価方法、評価結果

校内研修後にコンプライアンス推進員にアンケート等を行って、DVD視聴の効果を評価する予定である。

### 3 連携による研修についての考察

本DVDの作成は、岡山県教育委員会で行ってきた「不祥事防止対策チーム会議」を発展させたものなので、現場とのつながりはすでに出来上がっていると見てよい。DVDの配布も、これまで発出してきた研修資料の延長線上に捕らえられるので、受け入れる学校側も違和感は少ないと考えられる。

一方、大学の教育学部学生等の視聴については、これまでの経緯が十分に伝わってはいない上に、内容が深刻なものであるので、研修の目的や意義について丁寧な説明をする必要がある。

### 4 その他

[キーワード] DVD 学校教職員の不祥事 盗撮事案 小グループ協議

[人数規模] D. 51名以上

[研修日数(回数)]

すでに何回も述べてきたように、31年度に県内の学校で少なくとも、1回は実施する

補足事項（完成したDVDは岡山県の公立学校等に配布し、各学校の校内研修に視聴を組み込んでもらう予定であり、その点から人数を積算すると研修の対象者は15,000名以上となる見込み。）

)

【担当者連絡先】

●実施者 ※申請する大学名又は教育委員会名を記載すること

実施者名	国立大学法人 岡山大学大学院教育学研究科	
所在地	〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号	
事務担当者	所属・職名	岡山大学教育学系事務部教職支援グループ・主査
	氏名（ふりがな）	山岡 勇仁（やまおか はやひと）
	事務連絡等送付先	〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号
	TEL/FAX	086-251-7588 / 086-251-7586
	E-mail	hgg7598@adm.okayama-u.ac.jp

●連携機関 ※共同で実施する機関名を記載すること

連携機関名	福山大学	
所在地	〒729-0292 広島県福山市東村町字三蔵 985-1	
事務担当者	所属・職名	福山大学経済学部・人間文化学部事務室・事務長補佐
	氏名（ふりがな）	岡田 祐侍（おかだ ゆうじ）
	事務連絡等送付先	〒729-0292 広島県福山市東村町字三蔵 985-1
	TEL/FAX	084-936-2112 / 084-936-2021
	E-mail	Kkzimu-4@fuedu.fukuyama-u.ac.jp

●連携機関 ※共同で実施する機関名を記載すること

連携機関名	岡山県教育委員会	
所在地	〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号	
事務担当者	所属・職名	岡山県教育庁教職員課・主任
	氏名（ふりがな）	豊福 範章（とよふく のりあき）
	事務連絡等送付先	〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号
	TEL/FAX	086-226-7915 / 086-224-2160
	E-mail	noriki_toyofuku1@pref.okayama.lg.jp

